

農業集落排水事

最適整備構想・事業計画書・設計・積算・現場管理

■最適整備構想の策定

農業集落排水施設の長寿命化対策に資するため、機能診断調査を実施し、調査結果を踏まえた最適整備構想策定を支援します。

■事業実施の支援

汚水処理施設や管路施設などの調査、測量、設計、施工管理等を支援します。

■事業計画の策定

農業集落排水事業採択に向けて、地域の実情に応じた事業計画書の作成を支援します。

■資源循環施設の整備

農業集落排水汚泥（普通肥料）を利用した、堆肥化施設（コンポスト施設等）の整備を支援します。

農業集落排水施設の機能強化対策

県内には供用を開始している農業集落排水施設が58施設あり、最も早く供用開始された施設では、供用開始後20数年が経過している状況です。老朽化している施設は、機能強化対策事業を活用して、機器類などの更新整備が行えます。

農業集落排水施設の現状と課題

- 施設の老朽化
- 処理施設やポンプの異常通報が頻発
- 経年劣化による機器類の不具合が発生
- 施設の長寿命化対策を実施する必要がある

■機能強化事業実績 (H30年3月現在)
 内地：12施設 (全27施設)
 離島・奄美：10施設 (全31施設)



採択4年前：機能診断調査
 採択3年前：最適整備構想

※機能診断調査
 200万円/1処理区(国費定額)
 ※最適整備構想
 処理区数×100万円+200万円
 (上限800万円)(国費定額)

最適整備構想の作成

- 施設の老朽化の状況を客観的指標で評価する機能診断調査を実施
- 機能診断調査に基づく機能保全コストを算出し最適整備構想を策定

採択2年前：事業計画書作成

※国費50%、
 事業主体50%で
 計画書を作成

事業計画書の作成

- 施設の管理状況の確認、機能状態の調査
- 調査結果に基づく対策工法等の検討
- 地域の実情に応じた事業計画書の作成

採択年度

機能強化事業の導入

- 汚水処理施設、管路施設の老朽化対策(コンクリート防食工事・機器更新)
- 通報装置システムの更新、汚泥処理施設の追加
- 農業集落排水施設管理システムの構築

※供用開始後7年
 以上経過した施設
 を対象

事業実施例

農業集落排水施設管理システム作成業務

農業集落排水施設管理システムの構築は、適正な維持管理の一助とするため、GISを活用して行います。※本システムは水土里情報システム(MK-Maps)の施設管理システムとして運用します。

地理データ

属性項目	値
処理区	和台処理区
路線名	1106
測点(上流)	No.5
測点(下流)	No.6
管区分	支線
管渠種別	VU
上幅(管径)	200
道路種別	市町村道
中心幅延長	50.00
管径延長	49.10
GIS延長	49.99
地盤高(上流)	57.25
地盤高(下流)	55.94
起点管底高	55.802
終点管底高	53.924
土俵(上流)	1.24
土俵(下流)	1.21
公配	38.20
工事名称	
請負業者名	町田・南海JV
管種フラグ	自然流下管
施工年度	9
工事台帳	工事台帳
関連ファイル	
備考	

業を支援します

農業集落排水事業が快適な生活環境を創造します



農業集落排水事業の概念図



(処理施設)

(管路施設)

(中継ポンプ施設)

農業集落排水施設の老朽化や維持管理についても、ご相談ください



機能強化実施前



機能強化実施後(汚泥脱水施設設置)



大島郡知名町 田皆地区 汚泥処理施設

◆水土里ネット鹿児島では、技術と実績を活かした技術支援や、技術向上を目指した研修会の開催など、今後とも市町村と一体となった体制で、農村地域における自然環境の保全や生活環境の改善を支援します。

お気軽に
お問い合わせください

問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで